

船の家 ～まちに開く住まい～

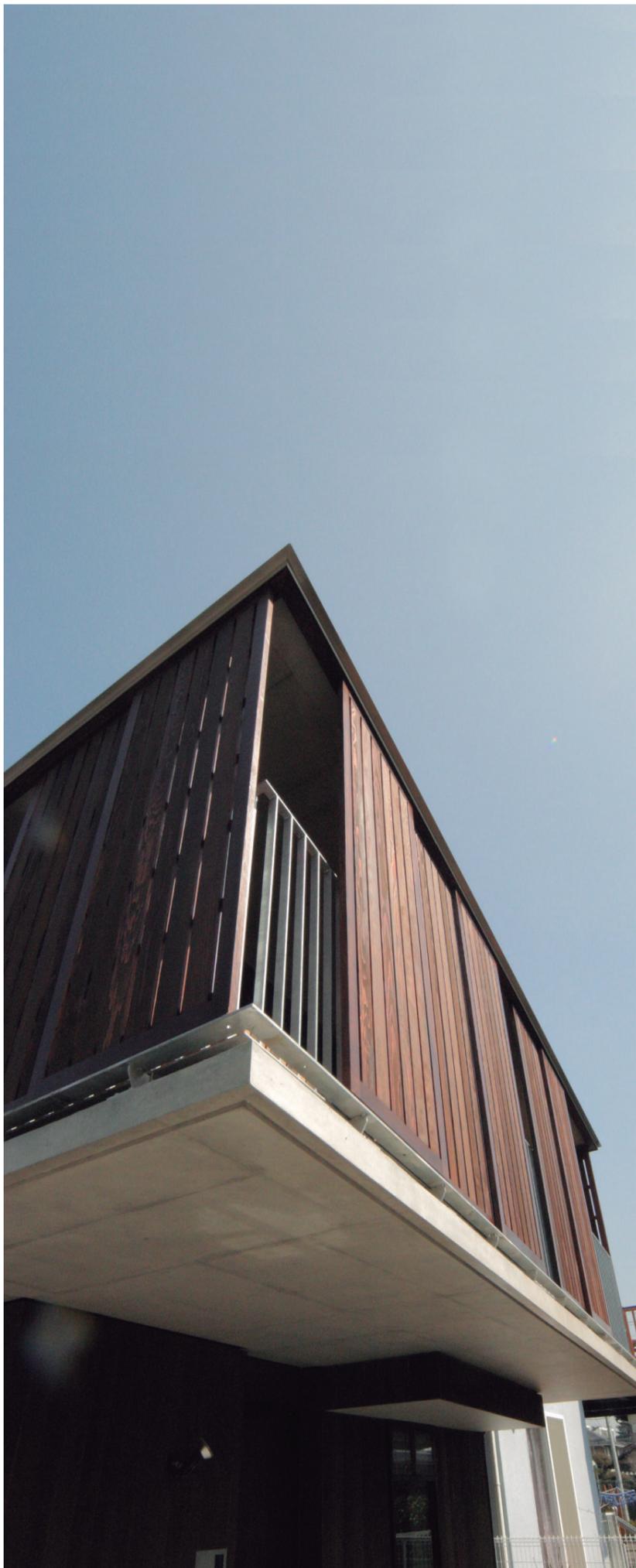
中村 雅子



taller  
Architectural Interior Space Design

株式会社 タジュール  
東京都杉並区大宮 2-13-10 〒168-0061  
T,03-5305-2773 F,03-5305-2774  
<http://homepage3.nifty.com/taller/>

社)日本建築家協会/関東甲信越支部 住宅部会 杉並地域会  
一級建築士/二級建築施工管理技士/JIA登録建築家



## 設計趣旨

これは私の住まいと事務所の建物です。北には善福寺川緑地があり豊かな緑と涼しい川が流れ、最寄駅からも至近の距離にある都市部の環境です。

この街区は風致条例が定められており塀ではなく生垣を推奨し、外壁の後退距離の規定があります。(道路境界から2m, 隣地境界から1.5m) その条件と3方角地の恵まれた環境を活かすべく建物周囲をバルコニーで囲むことを考えました。

船の甲板を思わせる四方向の先端には可動の格子戸が設けられており、使い勝手に応じて建築の外観は様々な表情に変化します。プライバシーの制御も可能にしています。2階の僅か7帖のリビングは吹抜けを通じて全てのルームと縦横に繋がっています。その中心には暖炉を据え外観から煙突が船のマストの表情を見せます。続きの南側コートは深さ3mのキャンティースラブとして丸鋼柱75Φを残すだけでL型の開口部が全面開放され外部と繋がります。格子戸を任意に動かすことで落ち着いたランチやディナーの場となり、時には人目を避けた洗濯物干し場ともなり得ます。

1周40mのサッカーのドリブルコースは子供達が友と駆け回ります。犬も自ら散歩に出歩きます。大きな窓やトップライトからの光が白い壁を引き立て明るさが室内に溢れます。それゆえ都市部とは思えないほど開放的な住まいになりました。さらに自邸なので環境共生住宅のモデルとなる多くの試みも盛り込んでいます。

## 建築概要

設計監理 ㈱タジュール 中村雅子 甲斐田友

構造設計 ㈱山田構造設計事務所 山田泰範

構造規模 RC壁式構造 3階建 外断熱通気工法

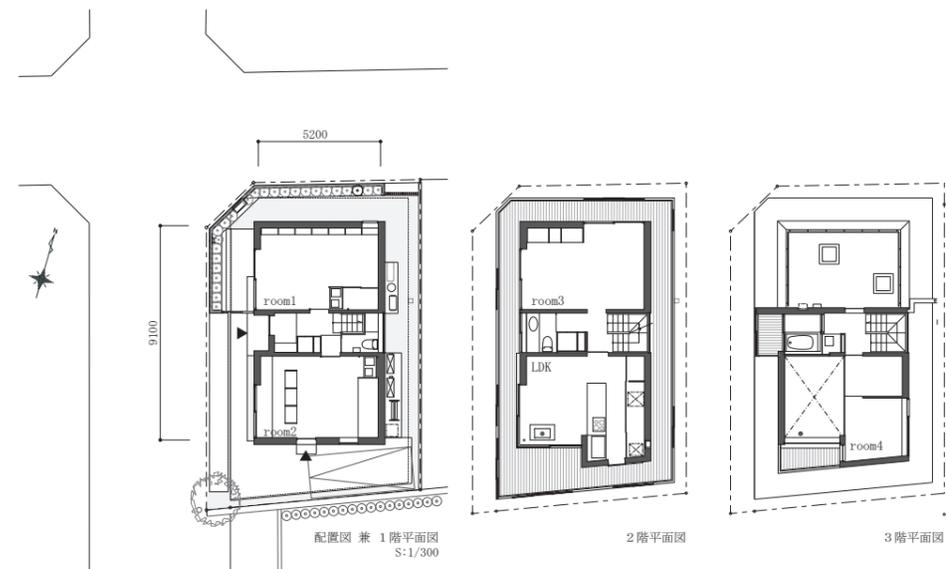
敷地面積 120.68㎡ (36.50坪)

建築面積 58.19㎡ (17.60坪)

延床面積 118.34㎡ (35.79坪)

設計期間 2005年1月～2005年3月

施工期間 2005年5月～2006年2月



## メンテナンス躯体蓄熱暖房

24時間全館暖房。中間スラブ(2階S/L)に100Φのスパイラルダクトを埋設し打設、送風機から60℃の温風を循環させコンクリートに蓄熱。空気を流している為埋設している床部分のメンテは不要で送風機のみメンテナンスである。



## 可動格子戸

左写真は洗濯物を隠すために寄せ、右写真は食事中の目隠しに。夏は南からの直射日光を深い庇と共にさげり室内を涼しくしてくれる。(下図面:断面詳細図)

